

## (15) 柔道

平成25年度 第48回群馬県高等学校総合体育大会柔道競技会  
兼第61回関東高等学校柔道大会群馬県予選 実施要項

1. 期日及び会場 平成25年5月10日(金) 11日(土)  
群馬県総合スポーツセンター ぐんま武道館 第一道場  
前橋市関根町800 電話 027-234-5555 (代)
2. 競技日程 平成25年5月10日(金) 10時00分～ 男女個人試合  
11日(土) 9時30分～ 男女団体試合
3. 競技規定 国際柔道連盟試合審判規定による。
4. 競技方法 (1) 団体試合  
ア トーナメント戦を行う。ただし、女子について、参加校が6校以下の場合、リーグ戦を行う。  
イ 優勢勝ちの判定基準は、「有効」または「指導2」以上があったとき。  
ウ 同点の場合は得点内容を検討する。内容が同等の場合は代表戦(ゴールデンスコア方式 2分)を行い、必ず勝敗を決める。  
エ 得点内容を見る場合は、一本勝ち(反則勝ち、不戦勝ち、総合勝ち等を含む)と技有優勢勝、有効優勢勝ちに差をつける。  
オ 試合時間は3分とする。(準決勝、決勝は4分)  
カ 順位決定戦(敗者復活戦)は次のように行う。  
①男子では準々決勝で敗れた4チームと、準決勝に進出したチームと対戦し最も勝敗差の少なかった4チーム(但し、同じ差の場合、得点内容をみる。一本勝ち…10点、技有り勝ち…7点、有効勝ち…5点、とし、点差が少ないチームが出場する。点差でも同じ場合は対戦した回数が後のチームとする)の8チームで順位決定戦(敗者復活戦)を行う。  
②女子の順位決定戦(敗者復活戦)は、準決勝で敗れた2チームと、決勝に進出したチームと対戦し最も勝敗差の少なかった2チームの4チームが男子に準じて行う。  
リーグ戦において、2チームの場合は本戦の結果による。3チーム以上の場合はトーナメント方式で、代表戦を行う。  
キ 順位決定戦(敗者復活戦)の結果を総体得点とする。  
(2) 個人試合  
ア トーナメント戦を行う。  
イ 優勢勝ちの判定基準は「有効」または「指導2」以上があったとき。ただし、内容が同等だった場合はゴールデンスコア方式で必ず勝敗を決める。  
ウ 試合時間は3分とする。(準決勝、決勝は4分)  
(3) 団体試合、個人試合を一連の試合とみなさない
5. 引率・監督 (1) 引率責任者は、校長の認める当該校の職員とする。(ただし、公立学校にあっては教員とする。)  
(2) 選手は必ず、当該校の引率責任者に引率され、引率責任者は選手のすべての行動に対し責任を負うものとする。  
(3) 監督は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に必ず加入することを条件とする。
6. 参加資格 (1) 参加選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校(中等教育学校後期課程を含む)に在籍する生徒であること。  
(2) 本連盟柔道専門部に登録をした者。  
(3) 年齢は平成6(1994)年4月2日以降に生まれた者とする。但し、同一学年での出場は1回限りとする。  
(4) チームの編成は、全日制課程、定時制課程、通信制課程の生徒による混成は認めない。  
(5) 転校後6ヶ月未満の者は参加を認めない。但し、一家転住の場合は、特例として参加を認める。  
(6) 参加選手は、あらかじめ健康診断を受け、当該校長の承認を必要とする。
7. 出場制限 (1) 男子団体試合  
1校1チーム(定時制課程、通信制課程が出場する場合2又は3チーム) 監督1名、選手5名、(先鋒から軽量級3名、無差別2名)、補員2名(軽・無差別各1名)の8名とする。

軽量級は73kg以下とし、補員の出場は登録した階級に限る。

外国人留学生のチーム人員は、1名以内とする。

(2) 女子団体試合

1校1チーム監督1名、選手3名（先鋒から軽量級2名、重量級1名）、補員2名（軽・重量級各1名）の6名とする。但し、重量級の者がいない場合、軽量級の者が重量級に出場することができる。軽量級は57kg以下とする。但し、補員の出場は登録した階級に限る。

外国人留学生のチーム人員は、1名以内とする。

(3) 男子個人試合

ア 1校監督1名、選手2名の計3名とする。

イ 体重無差別とする。

(4) 女子個人試合

ア 1校監督1名、選手の出場は制限しない。

イ 体重別とする。階級は48kg級・52kg級・57kg級・63kg級・70kg級・78kg級・78kg超級の7階級とする。

8. 組合せ会議

平成25年4月24日（水）午前9時30分より、群馬県立前橋東高等学校で常任委員が行う。

9. 表彰

(1) 男子団体試合

優勝校に優勝盾（持ち回り）を、関東大会出場校に表彰状を授与する。

(2) 女子団体試合

優勝校に優勝盾（持ち回り）を、関東大会出場校に表彰状を授与する。

(3) 男女個人試合

1位～3位の上位4名に表彰状を授与する。

10. 申込み方法

別冊申込書の各一部を各高等学校でとりまとめて、参加校すべて4月22日（月）午後2時までに下記まで申し込みをする。

〒371-0805 前橋市南町4-35-1

県立前橋商業高校内 群馬県高等学校体育連盟事務局

なお、同じ内容のものを下記宛に、Eメールにて22日までに申し込む。

高崎高校 田中 利明 メールアドレス j2320@yahoo.co.jp

11. 関東大会出場権

男子団体上位7校、女子団体試合上位3校、男子個人上位2名、女子個人各階級上位2名は、6月1日（土）6月2日（日）に小瀬スポーツ公園武道館で行われる第61回関東高等学校柔道大会の出場権を得る。

12. 選手変更

(1) 個人試合の変更は認めない。

(2) 9日の午後5時までに委員長に連絡する。大会当日、校長の証明書・医師の診断書・柔道整復師の証明書のいずれかを委員長に提出する。補欠の補充は各階級1名までとし、伝染病その他天災による場合は特例を認める。また、個人試合に出場して怪我等を負い、団体試合に出場できない場合監督は直ちに委員長に連絡し、補充の選手の計量を行う。大会当日、監督会議で了解を得る。

13. 計量

5月10日（金）午前8時30分～9時20分に試合会場で行う。（時間内計量）

注 男女団体試合出場者も同じ時間帯に行う。（無差別は行わない）

14. その他

(1) 選手は所定のゼッケンをつける。

(2) 女子は白の無地のTシャツを着用する。

(3) 男子団体試合上位8校、女子団体試合上位4校はインターハイ予選のシート権を得る。

(4) 監督会議を両日とも第4会議室（道場に隣接の会議室）にて行う。

会議の開始時間 10日（金）9時30分、11日（土）9時00分。

(5) 受付は監督が8時30分～9時00分までに行う。

(6) 昼食は各自で用意する。

(7) 団体戦に男女で出場する学校については男女それぞれに監督をつけること。

(8) 脳振盪対応について、選手および指導者は下記事項を遵守すること。

1. 大会前1ヶ月以内に脳振盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。

2. 大会中、脳振盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。（なお、至急、専門医（脳神経外科）の精査を受けること。）

3. 練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。

4. 当該選手の指導者は大会事務局および全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。